

平成27年度 第2回富山市総合教育会議 会議録

1 日 時 平成28年2月23日(火曜日)
午前10時00分 開会
午前10時34分 閉会

2 場 所 本庁議会棟8階 第4委員会室

3 出席者 富山市長 森 雅志
富山市教育委員会
教育委員長 若林 啓介
教育委員 藤井 久丈
教育委員 尾畑 納子
教育長 麻島 裕之

事務局関係

教育委員会事務局

教育次長（総務・社会教育担当）	奥 村 信 雄
教育次長（学校教育担当）	齐 藤 保 志
参事（教育総務課長）	岡 地 聡
学校施設課長	広 瀬 圭 一
学校教育課長	武 島 浩
学校保健課長	山 本 貴 英
参事（生涯学習課長）	大 場 一 成
教育総務課主幹（課長代理）	若 松 潤
教育総務課管理係長	桑 名 純 一
教育総務課管理係主事	山 村 真 史

企画管理部

参事（企画調整課長）	酒 井 敏 行
企画調整課長代理	岸 聡 之

4 協議題 (1) 富山市教育大綱（案）について

5 会議の要旨

○開 会

○市長あいさつ

○議題 1 富山市教育大綱（案）について

教育総務課長が、今回提示した富山市教育大綱（案）のベースとした富山市教育振興基本計画の概要を説明した。その後、富山市教育大綱（案）について、その位置づけ、対象期間、構成及び4の基本的な方向・17の基本施策の概要（富山市教育振興基本計画との変更点含む）を説明した。

●議題 1 に対する審議

[市長]

何点かあるが、まず1点目、施策④の「社会で生きる実践力の育成」について、ここで語ろうとしていることは、荒野を一人で生きていくようなたくましさの育成を目的としているものだと思うが、文末の「主体的に進路を選択する能力の育成」という文言は、急にスケールが小さいものになったように感じる。

次に2点目、施策⑪の「質の高い学校教育環境の整備」についてだが、施策⑤にも記載のICTの活用の再掲で済ましているが、違う書きぶりがないのか。

3点目であるが、施策⑮の中に私もよく使う言葉として、「シビックプライド」とあるが、この言葉が一般的にどこまで認知されているのかと思う。一般的に使われている言葉であれば、この文言でよいと思う。例えば、市民としての矜持、誇り、自信といった言葉もあると思う。

このほか、根本的な部分であるが、教育目標の中の「2」に「郷土を愛し」と記載はされているが、もう少し愛国心や祖国愛のようなニュアンスをどこかに入れられないか。

[藤井委員]

教育目標の中に「志をかかげ」とあり、この文言の該当部分を探すと、施策④の「社会で生きる実践力の育成」であるが、最後に記載されている進路を選択する能力は「志」という言葉に当てはまらないと思う。「志」ということを示すような内容にしてほしいと思う。

それから、先ほどの市長の発言にあった国を愛するというような文言はどこかに入れられないか。例えば教育目標の中などはどうか。

〔麻島教育長〕

市長が発言されたことについてだが、平成18年に教育基本法が改正されて、「教育の目的」の後に「教育の目標」と「生涯学習の理念」が入れられた。そこで議論になった「我が国と郷土を愛する」という文言が、国会でも議論をされ、オーソライズされた。これを受けて学校教育法の目標にも同様に記載された。

〔市長〕

例えば、今ほど示してもらったようなところに使われている用語をどう持ち込むかで解決できると思う。

〔尾畑委員〕

法律の中の言葉を持つてくるのであればよいと思う。

〔若林委員長〕

国を愛するという言葉であれば、教育目標のような上位の箇所に記載すべきであると考えます。

〔尾畑委員〕

このほか、施策④の中の「進路を選択する能力」の部分は、もっと広がりのある言葉にするべきである。

〔市長〕

「未来を切り拓く」や「自分の意志で人生を生きていく」などの言葉があり、個人的には「荒野を生きる力」という文言をよく使っている。

〔若林委員長〕

この他にも、例えば「主体的に人生を切り拓く能力」という言葉もあると思う。

〔教育総務課長〕

改めて確認だが、教育目標については、我が国を愛するという言葉を盛り込むことを検討する。施策④については、進路を選択する能力といった部分の表現を改める。施策⑪については、再掲ではなく、新たにはっきりとした文言を記載し、施策⑮については、シビックプライドという言葉が客観性、一般性及び汎用性がある言葉かどうかを調べて報告をするという形でよいか。

〔全員〕

異議なし。

⇒ 今後は事務局で文言等を調整し、決裁の手続を行った上で「策定」ということで、市長及び教育委員会ともに合意

○閉 会